

# ●●●2024年4月～6月期 栃木県中小企業景況調査(180回)●●●

## 【栃木県D I 指数天気図】

### 今期(県内全体)の業況

D I 値

**-13.1**

※全国 -15.6

## 業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(1-3月期)から5.2ポイント悪化し-13.1ポイントとなったものの、全国との比較では5期連続で全国平均を上回る結果となった。業種別に見ると、製造業で小幅な改善が見られたが、建設業、小売業、サービス業では悪化となった。

仕入単価は、製造業で73.1ポイントで前期から横ばい、建設業で85.0ポイント、小売業で80.5ポイント、サービス業で79.3ポイントと、前期より悪化となった。

来期の県内全体の業況は3.4ポイント悪化の16.5ポイントとなる見込みで、6期ぶりに全国平均を下回る見込みである。業種別に見ると製造業が5.9ポイントの改善が見られるものの、建設業は30.2ポイントの大幅悪化、小売業とサービス業は小幅な悪化が見込まれる。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
製造業						
	D I 値	<b>-5.8</b>	-6.7	73.1	16.6	-13.3
業況：前期から4.6ポイント改善し、来期はさらに小幅ながら改善の見込み						

来期予想(全体)
0.1
(↗)

建設業						
	D I 値	<b>1.7</b>	5.0	85.0	-10.0	-10.0
業況：前期から15.5ポイント大幅改善したが、来期は大幅悪化の見込み						

-28.5
(↓)

小売業						
	D I 値	<b>-24.9</b>	-7.3	80.5	-34.1	-7.4
業況：前期から13.9ポイントの大幅悪化、来期は小幅な悪化が見込まれる						

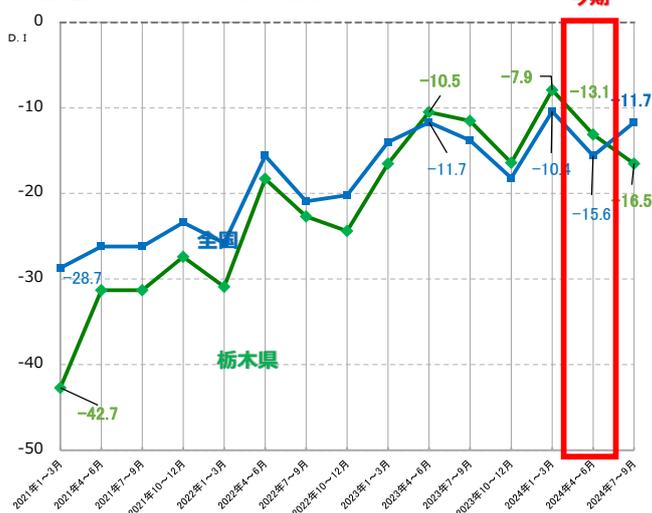
-27.0
(→)

サービス業						
	D I 値	<b>-16.5</b>	8.5	79.3	-25.4	-16.0
業況：前期から12.3ポイントの悪化、来期は10.0ポイントの悪化の見込み						

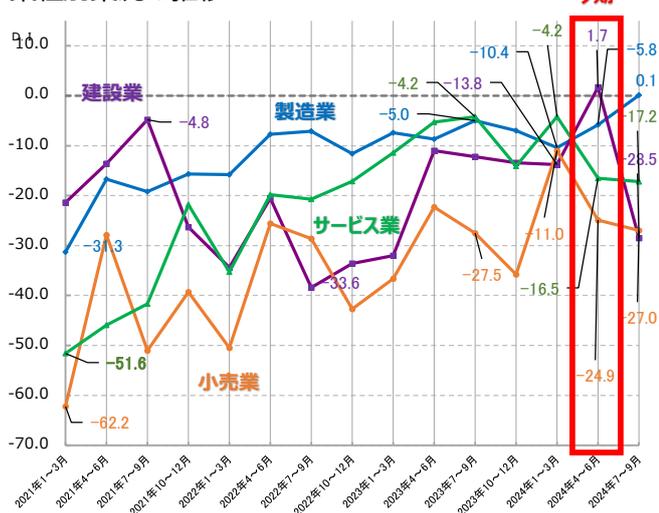
-17.2
(→)

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

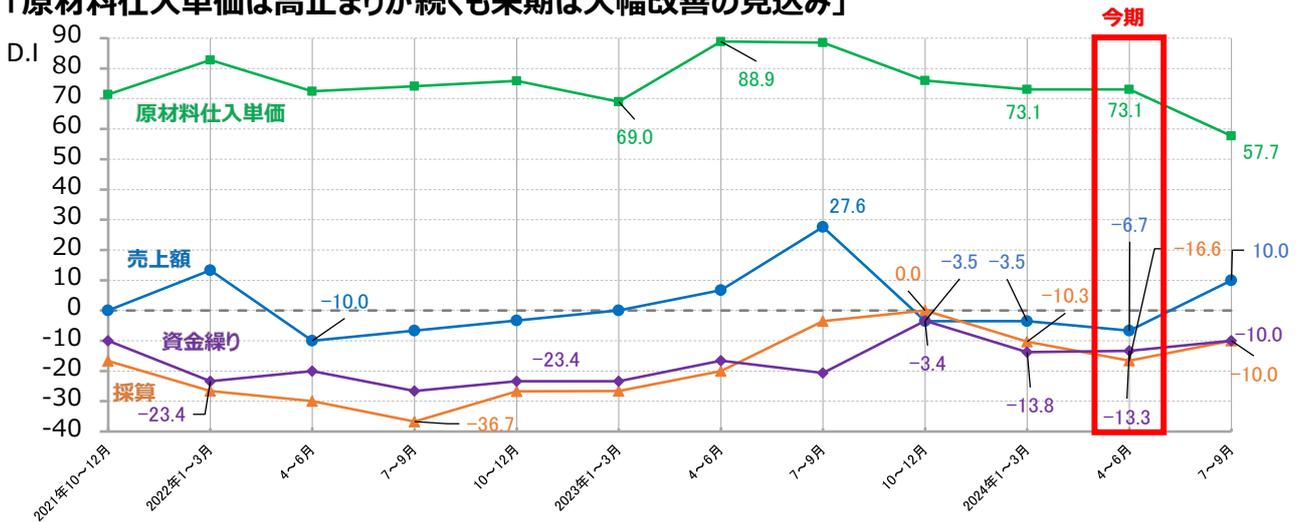


業種別業況の推移



## 製造業

### 「原材料仕入単価は高止まりが続くも来期は大幅改善の見込み」

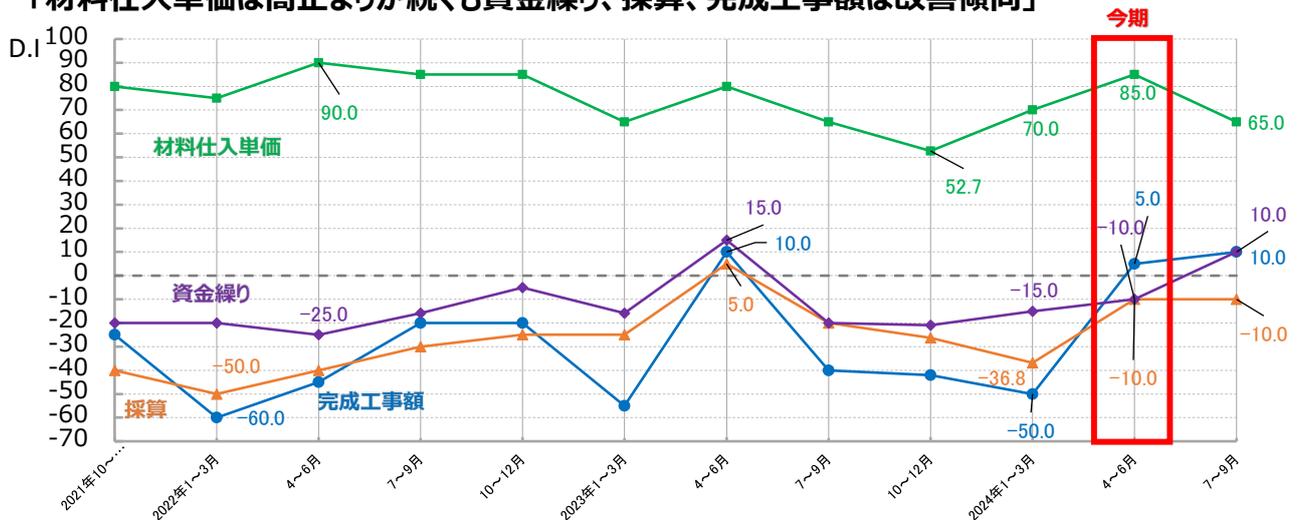


「原材料仕入単価」は、横ばいに推移し高止まりが続くも、来期は15.4ポイント（73.1→57.7）の改善が見込まれる。「資金繰り」はほぼ横ばい（-13.8→-13.3）となった。来期は3.3ポイント（-13.3→-10.0）の小幅ながら改善の見込みとなっている。「売上額」は、3.2ポイント（-3.5→-6.7）の悪化となった。来期は16.7ポイント（-6.7→10.0）と大幅改善が見込まれる。「採算」は6.3ポイント（-10.3→-16.6）の悪化となり、2期連続の悪化となったが、来期は6.6ポイント（-16.6→-10.0）の改善見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位： 原材料価格の上昇（23.5%）      第2位： 需要の停滞（17.3%）  
 第3位： 従業員確保難（13.6%）      第4位： 製品ニーズの変化へ対応（9.9%）

## 建設業

### 「材料仕入単価は高止まりが続くも資金繰り、採算、完成工事額は改善傾向」

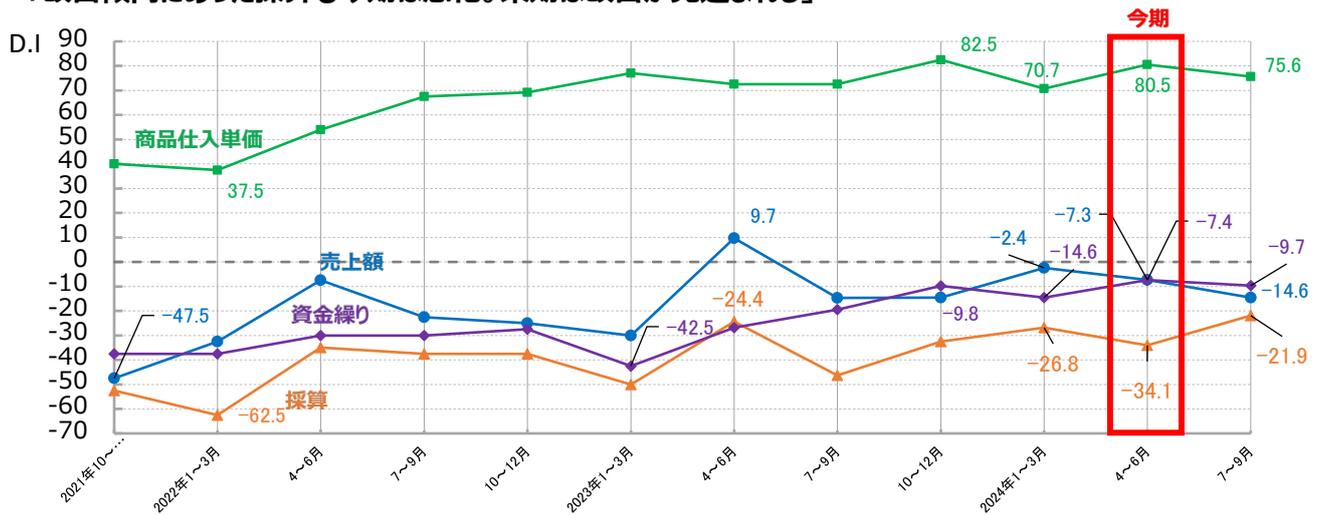


「完成工事額」は、55.0ポイント（-50.0→5.0）の大幅改善となり、来期も5.0ポイント（5.0→10.0）の小幅改善となる見込みである。「採算」は26.8ポイント（-36.8→-10.0）の大幅改善となり、来期は横ばい（-10.0→-10.0）の見込みである。「資金繰り」については5.0ポイント（-15.0→-10.0）の改善が見られ、来期は20.0ポイント（-10.0→10.0）の大幅改善が見込まれている。「材料仕入単価」は、15.0ポイント（70.0→85.0）の悪化となったが、来期は20.0ポイント（85.0→65.0）の大幅改善が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇（41.2%）      第2位： 従業員の確保難（17.6%）  
 第3位： 人件費の増加（8.8%）      第4位： 材料費・人件費以外の経費の増加（8.8%）

## 小売業

「改善傾向にあった採算も今期は悪化。来期は改善が見込まれる」



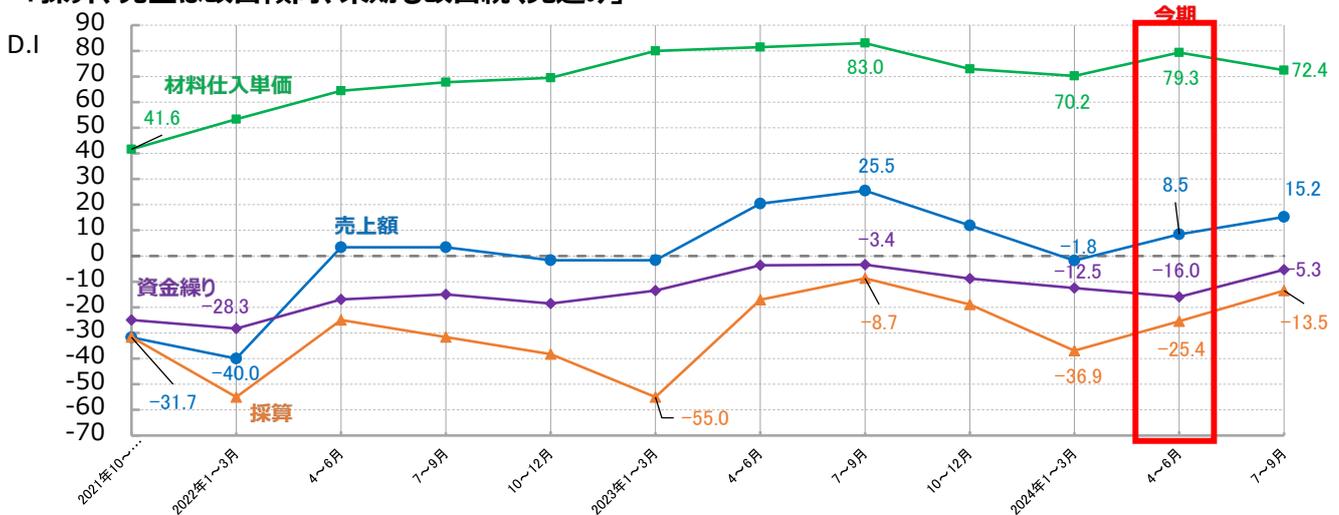
「採算」は、7.3ポイント（-26.8→-34.1）の悪化となった。来期は12.2ポイント（-34.1→-21.9）の改善が見込まれる。「売上額」は、4.9ポイント（-2.4→-7.3）の悪化となり、来期も7.3ポイント（-7.3→-14.6）と更なる悪化が見込まれる。「資金繰り」は、7.2ポイント（-14.6→-7.4）の改善となり、来期は2.3ポイント（-7.4→-9.7）の小幅ながら悪化が見込まれる。「商品仕入単価」は、9.8ポイント（70.7→80.5）の悪化が見られるが、来期は4.9ポイント（80.5→75.6）の小幅な改善が見られるも高止まりは続いている。

【経営上の問題点】 第1位：消費者ニーズの変化への対応（22.4%） 第2位：仕入単価の上昇（22.4%）

第3位：大・中型店の進出による競争の激化（12.1%） 第4位：需要の停滞（10.3%）

## サービス業

「採算、売上は改善傾向、来期も改善続く見込み」



「採算」は11.5ポイント（-36.9→-25.4）の大幅改善となり、来期も11.9ポイント（-25.4→-13.5）の改善が見込まれる。「売上額」も同様に10.3ポイント（-1.8→8.5）の改善、来期も6.7ポイント（8.5→15.2）の更なる改善が見込まれている。「材料等仕入単価」は9.1ポイント（70.2→79.3）の悪化となったが、来期は6.9ポイント（79.3→72.4）の改善が見込まれる。「資金繰り」は3.5ポイント（-12.5→-16.0）の悪化となったが、来期は10.7ポイント（-16.0→-5.3）の改善が見込まれる。

【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇（37.9%） 第2位：利用者ニーズの変化への対応（12.6%）

第3位：店舗施設の狭隘・老朽化（10.3%） 第4位：人件費の増加（6.9%）

## 調査要領

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・うつのみや市・益子町・市貝町  
壬生町・藤岡町・喜連川・那珂川町・那須塩原市

### ○調査時点

2024年6月1日

### ○調査対象期間

2024年4月～6月期の実績及び、2024年7月～9月期の見通しについて調査

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

### ○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.0%
建設業	20	13.3%
小売業	41	27.3%
サービス業	59	39.3%
合計	150	100.0%

### ※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875